

大分市 農業委員会だより

Vol.
74

令和6年8月1日発行 編集と発行 / 大分市農業委員会 大分市荷揚町2番31号 電話：097-537-5654

農業委員会が新体制でスタートしました！

就任のご挨拶

会長 朝耒野 清



農業委員会の会長就任に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より本市の農業委員会活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年3月、3年間の任期満了に伴う農業委員、農地利用最適化推進委員の改選が行われました。

足立市長から農業委員14名が任命され、その後の定期総会において、委員の皆様からご推挙賜り、引き続き会長職を拝命し、重責に身が引き締まる思いでおります。

また30名の農地利用最適化推進委員の委嘱を行い、新体制の農業委員会となったところでございます。

本市農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化と後継者不足、これに伴う農地の減少や荒廃化、有害鳥

獣による農作物被害の増大等に加え、光熱費、資材費が高騰し続けており、大変厳しい現状に置かれています。

農業委員会ではこれらの課題に対応していくため、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など「農地利用の最適化」に引き続き尽力するとともに、地域の努力で守り続けてきた農地を次世代に着実に引き継いでいくための将来計画である「地域計画」の策定に向け、全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。

農業委員会

会長

朝耒野 清

副会長

齊藤 耕一

大分・鶴崎地区

地区審議会会長

筒井 昌一

大南地区

地区審議会会長

齊木 清範

植田・野津原地区

地区審議会会長

秋吉 和行

大在・坂ノ市・佐賀関地区

地区審議会会長

大野 功二

退任委員の紹介

農業の振興・発展にご尽力いただきありがとうございました。

農業委員 (担当地区)

阿部 清 様 (大在坂ノ市)

得丸 芳昭 様 (鶴崎)

加藤 隆生 様 (植田)

二宮ナミ子 様 (大分)

中園 公雄 様 (佐賀関)

農地利用最適化推進委員

向 俊雄 様 (鶴崎)

白井 勝喜 様 (鶴崎)

帆秋 淳一 様 (大南)

矢田 典弘 様 (植田)

首藤 好信 様 (植田)

大内 憲治 様 (大在坂ノ市)

伊藤 孝芳 様 (佐賀関)



おもな内容

- | | | | |
|---------------------------|---|-------------------------|---|
| ■ 農業委員会が新体制でスタートしました！ | 1 | ■ 地域農業を支える | 6 |
| ■ 新しい農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介 | 2 | ■ がんばる地域の農業者 | 7 |
| ■ 農地パトロールを行いました | 4 | ■ 令和5年受付分農地賃借料情報の提供について | 8 |
| ■ 小学生の農業体験授業を行いました | 4 | ■ ボイス | 8 |
| ■ 農地集積の取り組みなど、県内研修を実施しました | 5 | ■ 全国農業新聞を購読しませんか | 8 |
| ■ 農地の貸借方法が変わります | 5 | | |

農業は健康が資本です。進んで健康診断を受けましょう！

農地利用最適化推進委員を紹介します！

令和6年8月1日現在



藤原 健児



小野 和隆

農 業 委 員

令和6年8月1日現在

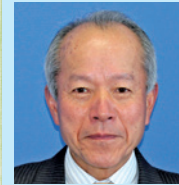
大分地区担当



朝末野 清



森崎 智徳



筒井 昌一



村上 枝里

大南地区担当



齊木 清範



長尾 栄作



黒木 緑子

植田地区担当



脇 文夫



釘宮 修一



齊藤 耕一



秋吉 和行

大在・坂ノ市地区担当



大野 功二



堀 誠

佐賀関地区担当



平山 孝行



農地の売買・贈与・賃貸借などに関するお問い合わせは、農業委員・農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局までご相談ください。

【お問い合わせ先】 大分市農業委員会事務局 農地担当班 電話：097-585-5076

大分市農業委員会の新しい農業委員・

農地利用最適化推進委員

大分地区担当



小野 昇二



星野 明彦



阿部 教保



岩本 龍年



得丸 芳昭



岩田 英昭

鶴崎地区担当



山崎 正則



矢坂 宗男



工藤 利幸



首藤 公洋



後藤 久

大南地区担当



但馬 栄作



和田 美徳



吉田 豊三



佐藤 浩



三ノ宮 義久



福田 一美

植田地区担当



工藤 和美



幸 隆富



佐藤 克治



河野 公則



甲斐 隆司

野津原地区担当



西村 忠男



片岡 信義



藤澤 秀光



釘野 喜弘



藤澤 茂樹



江川 博志

大在・坂ノ市地区担当

佐賀関地区担当



農地パトロールを行いました

大分市農業委員会は5月22日～5月29日に管内の農地パトロールを行いました。

農業委員、農地利用最適化推進委員により毎年実施するこの農地パトロールは、農地が営農計画どおりに耕作されているか、農地の無断転用がないか、申請の計画どおりに転用が行われているかなどを確認しています。

農業委員会では、今後も違法な開発や利用がなされないように、農地パトロールを続けますので皆様のご協力をお願いします。



小学生の農業体験授業を行いました

自ら汗をかいて作り育てる喜びや食べ物の大切さ、そして、農業への理解と関心を深めてもらうため、令和3年から小学生の農業体験授業を行っています。

去年は、大分市立南大分小学校5年生107名を対象に、6月の田植えと10月の稲刈りを行いました。

お米には色々な品種があることや、お米作りの作業や工程、お米作りに欠かせない“水”を運ぶ水路、また、南大分の農業の歴史等の説明を行い、子供達からも色々な質問を受けたところです。

12月には、育てたヒノヒカリのお米で、子供達が握ってくれた「おにぎりパーティー」に招待して

いただきました。

実際に泥田に入った時の歓声や慣れないカマで稲を刈る姿、おにぎりを美味しそうにほおばる子供達を見て、農業体験授業を行って本当に良かったと思うところです。

今日、世界中で起こっている自然災害や紛争などで、多くの人々が飢餓という問題に苦しんでいます。

食糧難民の全ての人々に食べ物が行き渡る世の中になることを願うとともに、今後も農業体験授業を通して、子供達には食べ物大切さをしっかり学んでいただき、住みよい地域づくりに少しでも貢献できればと思っています。



取材・文：農業委員会会長 朝末野 清

おおいた人権フェスティバル2023 人権作品コンクール【標語部門】 優秀賞

人権標語

つくろうよ 自分を出せる 良い世界

県内視察

農地集積の取り組みなど、
県内研修を実施しました

2月14日に国東市武蔵町及びJAおおいたカントリーエレベーターにおいて、農地集積の取り組みや農業の先端技術等について、農業委員、農地利用最適化推進委員による合同県内研修を行いました。本研修は、新型コロナウイルスの蔓延防止のため実施を控えていたことから4年ぶりの開催となります。

農地集積の取り組みについては、建設業から農業参入した株式会社らむ工房の佐藤司会長から、これまでの経緯や規模拡大の取り組み、今後の展望等についてお話を伺いました。

異業種からの参入は、当初、地域の信用を得られず、農地の集積は思うように進まなかったようです。このことは企業に限らず、新規就農者も同じ課題を抱えています。このため当法人は、地域との対話を大切にし、管理作業についても手を抜かず、地域活動へ積極的に参加したことで、地域からの信用を得ることができ、現在の規模まで農地を集積することができたとのことです。

また、建設業と農業の経営を完全に分離していること、社員の幸福を第一にサラー



マン並みの就業体系とすること、社員に「作業」をさせるのではなく「考え」させる教育を行っていることに、経営者としての目指すべき信念を感じ、強く感心させられました。最後に、「100年先の未来につながる魅力あふれる農業を目指す」と胸を張って、力強く夢を語ってくれた佐藤会長からは、厳しい農業情勢の中で、つい後ろ向きになってしまいそうになる気持ちを、前に進むよう強く背中を押されたように感じました。

農業先端技術については、九州電力株式会社からドローンによる農業散布サービスを、ニシム電子工業株式会社及び株式会社ドコモビジネスソリューションズから農業ITセンサー「MIHARASU」の紹介を行っていただきました。

農業分野においてもドローンやICTを活用した新技術の利用が行われ始めています。今後さらに進むと考えられる農業者の減少を補うためにも、更なる技術の進歩や低コストでの導入が可能となることに期待したいと思います。

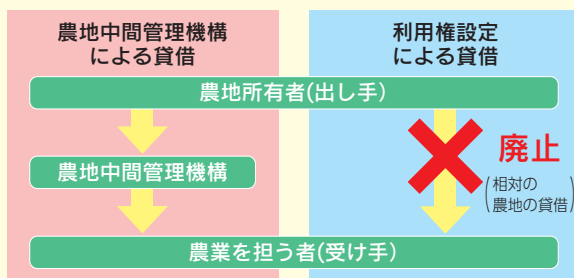


最後に業務多忙な中、当委員会の研修を快く引き受けただいた皆様に深く感謝申し上げます。

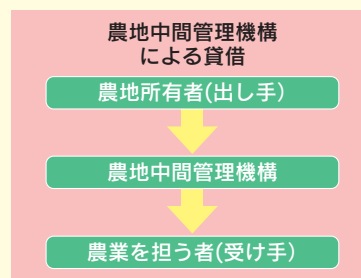
農地の貸借方法が変わります

農業経営基盤強化促進法の改正により、農地の貸し借りは令和7年2月21日申請分から、原則として農地中間管理機構経由のみになります。

現在(令和7年2月20日申請まで) ※1



変更後(令和7年2月21日申請から) ※2



※1・・・一部の地域では、令和7年2月20日以前から利用権設定による貸借ができなくなります。 ※2・・・他にも、農地法3条による貸借の手続きもあります。

農用地指定解除手続きを一時停止します

地域の話し合いにより、地域農業の将来のあり方を示す「地域計画」を令和7年3月に策定する都合上、令和7年1月末締切の農用地区域内の農地指定解除申出の受付を停止します。

転用などを検討されている方は早めのご相談をお願いします。

【お問い合わせ先】 大分市農政課 農地農振担当班 電話：097-574-6186

地域農業を支える

kaoluna farm 伊藤 香菜子さん



取材・文 大南地区農地利用最適化推進委員 但馬 栄作
大南地区農業委員 黒木 緑子

伊藤さんは、20年間、フラワーデザイナー兼インテリアコーディネーターとして、結婚式のお花や店舗の植物装飾の仕事に携わっていましたが、コロナ禍をきっかけに昔から趣味で楽しんでいたハーブ栽培やハーブの活用を仕事にしていきたいという想いが強くなり、ハーブ農家として、新規就農されました。

農家の親戚や知り合いがいない中、農地の確保、特に挑戦したかった自然栽培に適した土地の確保には苦労されていましたが、農業委員会等を通じて、現在では約4反の農地を活用し、ハーブ栽培に取り組んでいます。

伊藤さんが取り組んでいる自然栽培は、耕さず、農薬や肥料をあげない、微生物や虫、雑草と共生しながら育てるという、生物多様性を大切にした栽培方法になります。

一年目は、鍬を使っての畝立てが難しく、虫や雑草等とのバランスにも苦労されていましたが、現在4年目を迎えて、年々、バランスが整ってくるのを感じると同時に、土壌が

育ってきているのを実感しているそうです。

Kaoluna farmで栽培しているのは、ハーブを20種類ほど、また、もともと畑に自生していた一般的には雑草と呼ばれているものの日本の薬草類であるヨモギやドクダミ、スギナ、カキドオシ、ヤエムグラ、タンポポなどです。

育てたハーブと日本の薬草は、乾燥させて、テーマに合わせて調合し、和草ハーブティーや和草ハーブソルトとして販売しています。

今後は、観光農園やシェア農園などにも取り組み、より多くの方にハーブや日本古来の薬草の素晴らしさ、そして農業の楽しさなどを伝える活動を行っていききたいと意欲に溢れており、引き続き、私達もしっかりサポートしていきたいと思っています。



がんばる地域の農業者

高品質の美味しい牛乳を届けたい

取材・文 大在・坂ノ市地区農地利用最適化推進委員 片岡 信義

大在・坂ノ市地区農業委員 大野 功二



大規模酪農家の大型牧場が点在する大分市東部丹生の台地、その中で唯一地元丹川の酪農家である(有)指原牧場の代表取締役、指原義文さんをご紹介します。

指原さんは、宮崎大学農学部を卒業後、父親の経営する酪農業に参画しノウハウを学びました。子供の頃から牛に囲まれた環境で育ち「酪農をすることは必然であり、迷いは無かった」と話してくれました。

平成8年に現在の高台へ移転新築し、平成16年の34才で父親から経営を譲り受け、これまでの家族経営から経営規模拡大のために法人化しました。

令和3年の大分市畜産共進会では乳用牛の部で飼育管理技術が評価され、グランドチャンピオンを受賞しています。

妻の明子さんや両親と力を合わせ、また、従業員を1名常時雇用するほか、酪農ヘルパーも活用し、日々の作業を行っています。現在は経産牛100頭、育成牛50頭を飼育し、一度に8

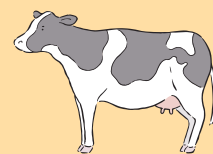
頭の搾乳をする自動搾乳システム(ミルクングパーラー)により1日2.6トンの生乳を搾乳しています。

牛の毎日の健康管理が生乳の品質にも影響するため、近年の夏期高温対策には十分な換気をする等注意を払っています。

ロシアのウクライナ侵攻や円安など国際情勢による輸入飼料代の大幅な値上がりや光熱費の高騰が経営を直撃しており、酪農経営環境はかつてない程厳しくなっています。

そのような中、指原さんは「このような状況に負けず、品質の高い美味しい牛乳を消費者の皆さんに届けていきたい」と熱い思いを語ってくれました。

また、地元丹川の農業者と協力しながら畜産農家が良質な堆肥を耕種農家に提供し、飼料米等飼料作物を栽培してもらう、循環型農業にも積極的に取り組んでいきたいとのことでした。



(単位:円)

地域名		田	畑	樹園地	ハウス
大 分	データ数	6	8	0	5
	平均額	5,800	46,400	0	48,900
	最高額	7,400	62,500	0	48,900
	最低額	5,300	30,200	0	48,900
鶴 崎	データ数	7	14	0	9
	平均額	8,900	24,800	0	48,900
	最高額	10,200	32,200	0	69,100
	最低額	5,800	15,100	0	21,300
植 田	データ数	127	11	4	7
	平均額	6,100	10,600	13,500	99,200
	最高額	11,300	21,000	13,500	99,700
	最低額	2,700	5,600	13,500	98,000
野津原	データ数	24	0	0	3
	平均額	9,900	0	0	92,200
	最高額	14,700	0	0	142,300
	最低額	3,100	0	0	67,100
大 南	データ数	72	95	0	4
	平均額	9,000	10,500	0	27,500
	最高額	13,200	15,300	0	27,500
	最低額	5,000	5,000	0	27,500
大在・坂ノ市	データ数	12	0	0	0
	平均額	9,100	0	0	0
	最高額	12,000	0	0	0
	最低額	7,400	0	0	0
佐賀関	データ数	2	0	0	0
	平均額	8,500	0	0	0
	最高額	10,200	0	0	0
	最低額	6,900	0	0	0
(参考) 大分市平均		7,500	14,300	13,500	63,000

令和5年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における
賃借料水準(10アール当たり)は、左記のとおりとなっています。

農地賃借料情報の提供について

令和5年受付分

注1 データ数は、集計に用いた筆数である。

注2 賃借料を物納支給(水稻)としている場合は、60キログラム当たり12,000円に換算している。

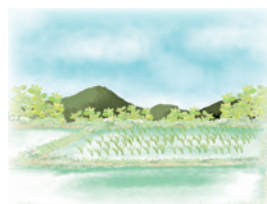
注3 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としている。

注4 特別な事情の下で取引されたものと推測できるデータ(分類された区分ごとの全賃借料データの平均値×±70パーセントを超えるもの)を除外している。

注5 使用賃貸については除外している。

注6 「(参考)大分市平均」の平均額は、各区分の平均値(四捨五入前)をデータ数により加重平均した値である。

注7 10アール=1,000平方メートル(約1反)



ボイス

農業委員 村上 枝里

本年3月に農業委員の改選があり大分市農業委員5名、農地利用最適化推進委員8名が新任いたしました。退任された委員の皆様には大分市の農業発展にご尽力いただき感謝いたします。今年新しい年を迎えると同時に大きな震災があり、当たり前の日常が当たり前でなくなる事への不安を感じながらのスタートでした。これら報道を見聞きする中、食糧ということの大切さ、食の安定供給は不可欠であると改めて考えさせられました。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、これまでの日常が戻りつつありますが、大分市の農業を取り巻く環境は資材費や燃料費の高騰、農業者の高齢化や担い手不足など、厳しい状況が続いています。

このような中、農業委員として、遊休農地の発生防止や担い手への農地利用の集積・集約化等、農地利用の最適化の推進に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

申込み
お近くの農業委員・
推進委員又は農業
委員会事務局へ

発行日 毎月4回 金曜日
購読料 新聞本紙
月額700円(税込)
※新聞本紙、電子新聞も閲覧可能
電子新聞
月額500円(税込)
※電子新聞のみ閲覧

農業経営と暮らしに役立つ
農業総合専門誌です。
全国47都道府県にある支局
の充実により、地域の元気で
特徴ある明るい話題や地域独
自のイベント情報などを紹介
しています。



全国農業新聞を
購読しませんか!



大分市農業委員会だよりVol.74は大分市公式ホームページでもご覧になれます。

【お問い合わせ先】 大分市農業委員会事務局 農政担当班 電話：097-537-5654